

ため池ハザードマップの作成を支援します

「農業水路等長寿命化・防災減災事業」とは？

農業水利施設の機能の安定的な発揮に必要な、機動的かつ効果的な長寿命化対策及び防災減災対策の効果を最大限に発揮する取組を実施する。

【主な内容】 いずれも定額助成は令和2年度まで

1. ため池の監視・管理体制の強化
監視カメラや水位計等の管理施設の整備と軽微な補修等の実施
2. ため池の保全・管理体制の構築 【ソフト単独実施可】
ため池の監視・管理に必要な技術習得のための研修の開催，管理体制構築に資する活動の実施
3. **ため池のハザードマップの作成** 【ソフト単独実施可】

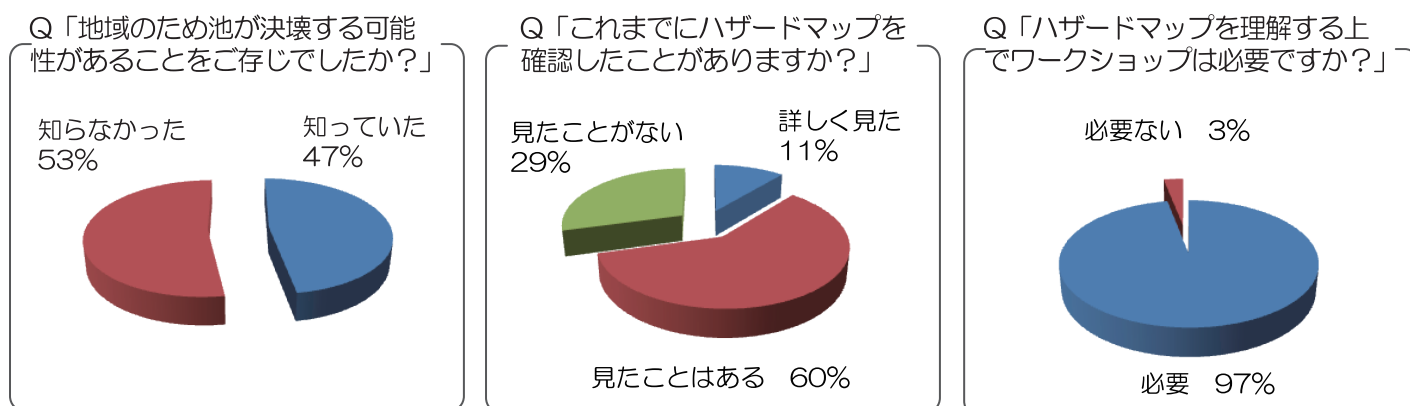
「ため池ハザードマップ」作成支援とは？

ため池の氾濫解析を行い、**浸水想定区域図**の作成を行います。
また、ハザードマップ作成にあたり**地域住民参加型ワークショップ**の**地域防災検討会**を実施します。

ハザードマップ作成では、マップを配るだけでなく地域住民を含めた防災に対する意識の向上（**地域防災力の向上**）が最も重要です。ワークショップでは、**DIG**(ディグ)※ 技術を活用した図面作成、ハザードマップの読み方、減災に対する学習動画上映等を行い、地域住民に対して防災意識の高揚を図ります。

※**DIG**とは、**災害図上訓練**のことで、Disaster（災害）、Imagination（想像力）、Game（体験）の略。大きな地図をみんなで囲み、子どもから大人まで参加者全員で「わいわい、がやがや」と語り合いながら、災害のイメージトレーニングをすること。

「ため池ハザードマップ」アンケート結果



【地域防災検討会（ワークショップ）に参加した住民の意見】

- ・ため池があることも知らなかった。
- ・災害が発生したら、どのように行動すればよいのかがわかった。
- ・災害の種類で、避難所・避難場所が違っていると知った。避難ルートを確認しておきたい。
- ・自主防災組織（地域）の構築を進めていきたい。

地域防災検討会を実施します

地域防災検討会、**DIG**（ワークショップ）を行うことで、地域住民が**災害を知る**、**まちを知る**、**人を知ることができ**、マップ作成の過程を共有することで**防災に対する意識が養われます**。
今後、地域住民自らが**防災を考えるきっかけづくり**になると期待されます。



ワークショップの様子
（枕崎市桜山小学校）



自主避難検討の様子
（伊仙町）



地域特性を共有する様子
（日置市）

本会のハザードマップ業務の実績（平成25年～30年度）

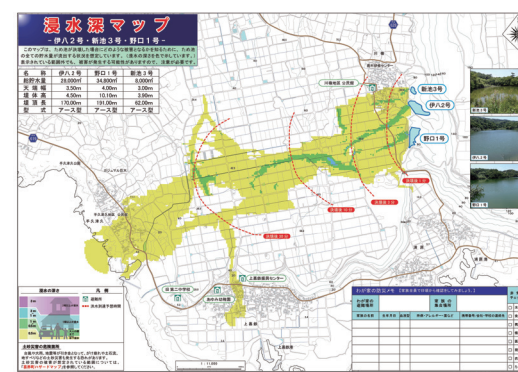
年度	市町数	池数	ため池名称	開催数	参加人数
25年度	3市町	6池	鑑池、下太郎池、宮河内池・栗下池・上金割池・現王池	11回	229人
27年度	5市町	9池	山崎ため池、住吉池・滑池・嶺友池、青木屯田池・竜石池、湯田旧塘池・湯田新塘池、大糟碇池	16回	429人
28年度	4市町	6池	鍋浦池・大谷池、中島池、大宇都池・小宇都池、早町池	10回	306人
29年度	10市町	19池	宮塘池、荒瀬(ダム)池、山下池・山口池・極楽池・十一月田池・下水流池、大迫池、御手洗池・堀ノ原池・大原池・諏訪原池、感王寺上奥・下奥池、節田池、盛原池、名道池・上名道池、伊仙池	23回	684人
30年度	6市町	11池	みどり池、前原池・塘之池、王ノ山池、森山池、伊ハ2号池・野口1号池・新池3号池、尺八池・木之又池・野田池	14回	306人
計		51池		74回	1,954人

平成27年5月に霧島市竹子小学校全児童を対象に防災訓練を実施しました。（参加者61名）

平成28年12月に枕崎市桜山小学校4～6年生を対象に防災訓練を実施しました。（参加者96名）

地域住民へのマップの提供

作成した「ため池ハザードマップ」は、地域の皆さんへ提供するとともに、ワークショップを通じてハザードマップの読み方の学習を行い、**防災意識の向上**を図ることが重要です。



ため池ハザードマップ



看板の設置

ハザードマップは、行政と住民とのリスク・コミュニケーションのための資料として活用することが望まれています。

問い合わせは、水土里情報センターまたは最寄りの事務所・支部まで